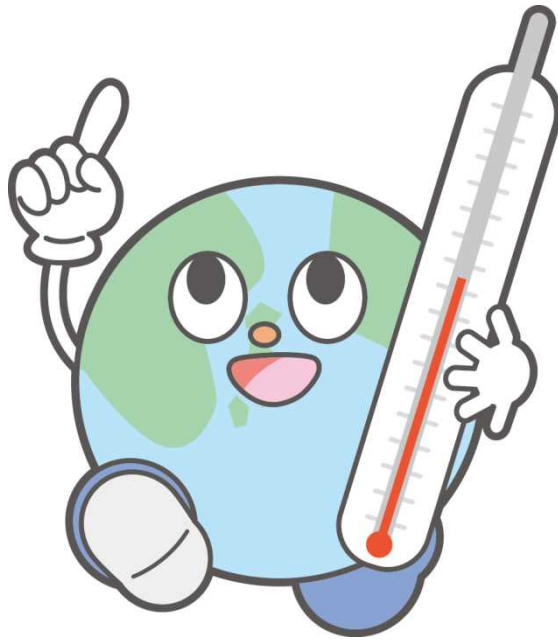


平成30年（2018年）度
関西エコオフィス大賞

～受賞事業所の取組紹介～



地球くん



関西広域連合
UNION OF KANSAI GOVERNMENTS

広域環境保全局（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市）

平成30年度関西エコオフィス大賞 受賞事業所

○関西エコオフィス大賞

あいおいニッセイ同和損保フェニックスタワー [大阪府・大阪市]

取組によってガソリン使用量も削減されている他、その体験を顧客への提案に活用するなど、他企業、府県民等にも水平展開可能な良い事例である。また、その他にも、高効率空調・LED照明・エコカーの導入、未使用エリア・昼休みの消灯、ペーパーレス会議、生物多様性保全活動など、様々な環境配慮の取組が実施されている点も評価された。

○関西エコオフィス奨励賞

株式会社安藤・間 大阪支店 [大阪府・大阪市]

取組によりCO₂排出量が大幅に削減できている。また、社屋環境パトロールにより、不具合の指導、好事例の水平展開をするなど工夫されている点も評価された。

イオンモール四條畷 [大阪府・四條畷市]

「見える化」により管理しやすくした好事例であり、これらの取組により、実際CO₂排出量が削減されている点、他の企業等にも水平展開可能な点が評価された。

大阪厚生信用金庫 [大阪府・大阪市]

節電のために、終業時間の繰上げを徹底されている点、業務を効率良く遂行するために随時業務実施方法を改善されている点が評価された。

銀鈴タクシー株式会社 [京都府・京都市]

タクシーのエコドライブは良い取組であり、これが他のタクシー会社でも広がれば、さらにCO₂排出抑制効果は高くなることを期待して評価された。

株式会社DINS 堺 RAC 事業所・バイオエタノール事業所 [大阪府・堺市]

優良事例を、社内だけでなくグループ会社間でも共有することにより、全体でレベルアップされている点が評価された。

株式会社ナンゴー [京都府・宇治市]

従業員数が少ない中、様々な取組を工夫して実施されている点が評価された。

■関西エコオフィス大賞

宣言オフィス名	あいおいニッセイ同和損保フェニックスタワー	
ホームページURL	https://www.aioinissaydowa.co.jp/	
オフィスの概要	所在地	大阪府大阪市北区西天満 4-15-10
	業種・業務内容	損害保険事業（営業、損害サービス業務）
	従業員	約 2,000 名
主な取組項目	エコ安全ドライブ・事故削減の取組として、自社のテレマティクス技術を活用した社用車の走行データ・事故データや運転スコアの分析、またオフィスにおける省エネ・ペーパーレス取組を実施。	

【取組の具体的内容】

エコ安全ドライブ・無事故推進の取り組み

- 2017年度にエコ安全ドライブ・無事故推進運動の取り組みとして、部支店別対抗戦を実施しました。優良店を表彰するなど、全社をあげてエコ安全ドライブ・事故削減に取り組めました。
- 部支店別対抗戦では、当社が持つ最新のテレマティクス技術を活用し、運転挙動を確認するテレマティクスタグの設置・アプリの利用（Visual Drive）※によって、部支店別の「運転スコア」や走行履歴等を確認し、アプリにて評価される「運転スコア（90点以上）」等から優良運転の成績上位部支店を表彰しました。
※ 社有車によるテレマティクスタグ・アプリの利用について、取得できる走行データと事故データの分析から事故低減施策の実施や効果検証の環境を整えることを目的に実施しており、原則全ての社有車に設置し、利用している。
- 2018年度も10月～12月に、エコ安全ドライブ無事故推進運動を実施しています。テレマティクスを活用して、社有車の走行データや事故データの分析に取り組んでおり、事故低減施策の検討または効果検証に利用すべく実施しています。

【取組を始めた契機・経緯】

- 当社では、交通事故の削減と環境負荷の低減に取り組むことが損害保険会社の社会的使命と認識しています。そのため、交通事故を減らすとともに環境にもやさしい「エコ安全ドライブ無事故推進運動」を実施しています。
- エコ安全ドライブの実施を通じて、社会的な課題であるCO2排出量の削減や交通事故の減少を通じた廃棄物の削減等、環境負荷の削減に寄与する取り組みを展開しています。お客さまへエコ安全ドライブ・無事故を推奨する立場にある損害保険会社の社員として、自らが交通事故を起さないことを認識するために、社有車でもエコ安全ドライブ・無事故推進運動に取り組めます。

【効果】

- 2017年4月より、当社営業社有車でテレマティクス・アプリ（Visual Drive）を利用したことにより、事故低減効果が認められています。
- 取得した走行データと事故データの分析から、事故低減施策の実施や効果検証の環境を整えることを目的に実施しています。

【他事業所への普及の可能性】

- テレマティクス・アプリ（Visual Drive）を利用したエコ安全ドライブ・無事故推進運動は、全社を挙げた取り組みです。この取り組みにより、実際に事故低減効果が表れています。
- 2017年度の全社ガソリン使用量実績は、エコ安全ドライブの推進やハイブリッド車等のエコカー導入推進等の取り組みにより、前年度比▲4.0%となっています。

【取組において創意工夫した点】

- 当社が持つ最新のテレマティクス技術を活用し、運転挙動を確認するテレマティクスタグの設置・アプリの利用（Visual Drive）※によって、「運転スコア」や走行履歴等を確認し、「運転スコア（90点以上）」を確認し、エコ安全・無事故推進運動に役立てています。
- テレマティクス技術の理解浸透と活用を進めるにあたり、2017年度に部支店別対抗戦を実施し、全国の各部支店が競い合って取り組めるよう工夫しました。

【従業員への周知・啓発の方法】

- ・ 部支店別対抗戦の実施を全社通知で案内し、社内へ情宣しました。対抗戦により各部支店が競い合っていて取り組み、その結果は社内イントラネットに掲示し、社員誰もが確認できるようにしました。

【取組の開始年・継続期間】

- ・ テレマティクス技術を活用したエコ安全ドライブ・無事故推進運動は、2017年度から実施し、2018年度も継続実施しています。

※ 2018年度は大阪北部地震・台風等の自然災害対応のため、部支店対抗戦は未開催です。

【取組を継続するための工夫・効果の持続性】

- ・ 社員が実際に取り組み・体験することで、テレマティクスの効果を実感し、お客さまへも取り組み効果をより具体的に伝える事が出来るようになっていきます。

【その他アピールしたい点】

- ・ テレマティクスを活用して、社有車の走行データや事故データの分析に取り組み、その効果を社内のみならずお客さまの事故低減施策の提案にも活かしています。社会全体の交通事故や環境負荷の低減につなげていきます。

その他の環境に配慮した事業活動への取組

1. 全社をあげたエネルギー使用量削減取組

- ・ 当社は、グループ環境基本方針のもと、企業の環境取組みへの社会的要請や環境規制に対応し、持続可能な社会の構築に向けた取組みを推進しています。
- ・ 毎年、電力・ガソリン・紙の削減目標を設定し、社長を委員長とするサステナビリティ委員会（年4回開催）にてその進捗を確認し、対策を立て、実行する、PDCA サイクルにてエネルギー削減に取り組んでいます。
- ・ 本社においては ISO14001 認証を取得、また各職場において部支店長を広報・サステナビリティ推進責任者とし、全社をあげて環境取組みを推進し、その取組みを社内外へ発信しています。
- ・ インフラ面では、高効率空調やLED照明等の省エネ設備の導入・切り替え、社有車買い替え時のエコカー導入、エコ安全ドライブ無事故推進運動を推進し、エネルギー使用量削減に取り組んでいます。（2017年度全社実績（対前年度比）：電力▲12.7%、ガソリン▲4.0%、紙 14.9%（うちコピー用紙▲4.9%））
- ・ グループで COOL CHOICE の取り組みに賛同し、通年でクールビズ（原則4月-10月）、ウォームビズ（原則11月-3月）に取り組んでいます。
- ・ 省エネ取り組みとして室温が原則、夏期 28℃、冬期 19℃となるよう空調設定を推奨、未使用エリアの消灯・エアコン停止や昼休みの消灯、長時間離席時のパソコン電源 OFF、階段利用（2up, 3down）、働き方改革（早帰り）を推進しています。大阪府が進める「Well-Being OSAKA Lab」にも設立メンバーとして参画しています。
- ・ 紙使用量の削減取り組みとして、適正な印刷物発注・在庫管理、ペーパーレス会議、コピー用紙の両面印刷等を推進しています。
- ・ エネルギー使用量データを社内に開示（「見える化」）した上、目標に対する進捗について各部支店・拠点の広報・サステナビリティ推進責任者（部支店長）等へ情報を発信し、積極的な省エネ取組みの実施を働きかけています。
- ・ 全社員を対象とした e ラーニングや日常の環境・省エネ取組みを振り返るアンケートを実施し、社員への教育啓発を毎年、継続実施しています。

2. 関西地域最大のフェニックスタワー（大阪市北区）での設備更新の実施

- ・ 旗艦ビルであるフェニックスタワーでの照明設備更新工事を実施しました。ビル内の蛍光灯を 50% 間引きする運営を行ってきましたが、2017年度の改修工事で館内主要照明はすべて LED 化（約 3,600 か所）し、更なる電力節減を図りました。
- ・ 照明工事に加えて、2018年度は空調改修工事も実施しており、更なる省エネ化が見込まれます。

3. CSR活動等独自の取組み（当社の地域貢献活動：後記写真を添付）

（1）大阪府への災害備蓄米と飲料水の寄贈

- ・ 2018年9月に大阪府の福祉の推進に向けて、災害備蓄米9千食と飲料水1,176本を寄贈しました。
- ・ 大阪府を通じ、生活困窮者への支援（子どもの支援含む）に従事する自治体・団体へ配布されました。

（2）生物多様性保全活動（MS&ADラムサールサポーターズ）

- ・ グループでの生物多様性保全活動「MS&ADラムサールサポーターズ～いのち・つなげる・水辺から～」の取組みを全国各地で実施しています。
- ・ 関西・四国地域では、琵琶湖・徳島吉野川河口において、外来種駆除やいきもの観察等、現地の行政やNPOと連携し実施しています。楽しみながら参加できる活動として毎年実施しており、大阪の人事・総務チーム等が事務局となり社員に参加を呼びかけ、2018年度は当社の社員やその家族ら約200名が参加しました。

<エコ安全ドライブの取り組み推進>

ポイント1 ふんわりアクセル『eスタート』 やさしい発進を心がけましょう。

環境面の効果 普通の発進より少し緩やかに発進する（最初の5秒で時速20kmが目安）だけで10%程度の燃費が改善します。

安全面の効果 やさしいアクセル操作は、加速も緩やかで時間に余裕ができ、とっさの対応がしやすくなるので、安全運転にもつながります。

ポイント2 早めのアクセルオフ エンジンブレーキを積極的に使いましょう。

環境面の効果 エンジンブレーキを使うと、燃料の供給が停止される（燃料カット）ので、2%程度燃費が改善します。

安全面の効果 早めにアクセルをオフにすると、速度の低下も早まるので時間に余裕ができ、とっさの対応がしやすくなるので、安全運転にもつながります。

ポイント3 加減速の少ない運転 交通状況に応じた安全な速度変化の少ない運転に努めましょう。

環境面の効果 加減速の機会が多くなると、市街地で2%程度、郊外で6%程度燃費が悪化します。

安全面の効果 交通状況に応じた速度変化の少ない運転は、無理な追い越しなどもなくなるので、安全運転にもつながります。

<クールビズ・ウォームビズ取り組みポスター>

お客さま各位

COOLBIZ

WARMBIZ

年間を通じた「ノーネクタイ・ノージャケット」と室温設定について

弊社は「MS&AD インシュアランス グループ 環境基本方針」のもと、気候変動・地球温暖化防止の取り組みを推進しています。

役職員に対し、年間を通じて「ノーネクタイ・ノージャケット」（クールビズ・ウォームビズ）での執務を認めるとともに、事務所内の温度を夏期 28℃（冷房）、冬期 19℃（暖房）となるよう設定しています。

お客さまにおかれましては、暑さ・寒さを感じられる場合があると存じますが、省エネ取り組み推進のため、本取組みの趣旨をご理解賜りますようお願い申し上げます。

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社



<エコステッカー：PC電源OFF推進、エコ安全ドライブの取り組み推進>

パソコン電源OFF推進 エコステッカー

IO環境宣言

パソコンに貼り、一人ひとりが消費電力削減に取り組みましょう!

1時間以上離席時・外出時は、PCの電源「OFF」または「スタンバイ」設定。スクリーンセーバーや画面を閉じただけでは、電力削減にはなりません
(スタンバイ設定: 「スタート」ボタン → 「シャットダウン」 → 「スタンバイ」選択 → OK)

Check! 離席時は、PCの電源を確認 (OFFまたはスタンバイ)	Check! 離席時は、PCの電源を確認 (OFFまたはスタンバイ)
Check! 離席時は、PCの電源を確認 (OFFまたはスタンバイ)	Check! 離席時は、PCの電源を確認 (OFFまたはスタンバイ)
Check! 離席時は、PCの電源を確認 (OFFまたはスタンバイ)	Check! 離席時は、PCの電源を確認 (OFFまたはスタンバイ)
Check! 離席時は、PCの電源を確認 (OFFまたはスタンバイ)	Check! 離席時は、PCの電源を確認 (OFFまたはスタンバイ)
Check! 離席時は、PCの電源を確認 (OFFまたはスタンバイ)	Check! 離席時は、PCの電源を確認 (OFFまたはスタンバイ)

■「電源OFF」シール: 説明スライダやプリンタなどには貼って下さい。
「出力削減」シール: プリンタの出力つところに貼って下さい。
「コピー削減」シール: コピー機の自立つところに貼って下さい。

昼休み・退社時など、 使っていない時は 電源OFF	昼休み・退社時など、 使っていない時は 電源OFF
昼休み・退社時など、 使っていない時は 電源OFF	昼休み・退社時など、 使っていない時は 電源OFF
出力を減らそう! 画面で確認 縮小印刷推進	出力を減らそう! 画面で確認 縮小印刷推進

コピーを減らそう!

①会議資料を減らそう
②回覧で済まないか
③縮小コピーが出来ないか
④両面印刷を徹底
⑤大量文書は印刷機で
⑥資料の「共有化」推進

もう1度考えて!

<地域貢献活動①: 大阪府への災害備蓄米と飲料水の寄贈>



<地域貢献活動②: 生物多様性保全活動「MS&AD ラムサールサポーターズ」>

・琵琶湖

・徳島吉野川



■関西エコオフィス奨励賞

宣言オフィス名	株式会社安藤・間 大阪支店	
ホームページURL	http://www.ad-hzm.co.jp/	
オフィスの概要	所在地	大阪府大阪市福島区福島6-2-6
	業種・業務内容	総合工事業（主として管理事務を行う支店）
	従業員	224名
主な取組項目	節電の取組として、室内照明の節電管理（昼休み消灯、利用時のみの点灯等）、パソコンプリンタ等の電源オフ管理（パソコンは省エネモード・長時間離席時電源オフ等）、階段フィットネス、社屋環境パトロール等を実施。	

【取組の具体的内容】

節電の励行

- ① 社員全員で活動《支店ビル並びに管轄営業所ビルに従事するすべての従業員（契約社員も含む）》
 - ・ エコオフィス要領を作成し活動展開《ルール・手順の標準化》
 - ・ 適材適所にポスター、案内等の掲示、表示《見える化、注意喚起》
- ② 室内照明の節電管理の徹底
 - ・ 昼休み時間（12:00～13:00）の全面消灯
 - ・ ムダな照明の点灯防止《各エリア（部門ごと）の点灯実施、就業時間以外の消灯徹底》
 - ・ 利用時のみの照明点灯《会議室・トイレ・洗面所》
- ③ パソコンプリンタ等の電源OFF管理
 - ・ パソコンは初期設定で省エネモード（離席15分以上）
 - ・ パソコン電源OFFルールの実施（離席2時間以上は電源OFF）
 - ・ 待機電力削減ルールの実施（プリンタ等は最後使用者が電源OFF）
- ④ 「階段フィットネス」他の実施
 - ・ エレベーター利用低減による電力削減、階段照明電力削減（人感センサー照明対応）
 - ・ 健康増進

【環境月間（毎年6月）活動】

- ・ 環境省ライトダウンキャンペーンに参加《6/21、7/7の20時～22時一斉消灯実施》
- ・ 「社屋環境パトロール」の実施。《エコオフィス活動や労働環境状況のチェックと見直し》

【取組を始めた契機・経緯】

- ・ 社会における地球環境保全の高まりを受け、2000年に環境方針を制定。
- ・ 同年ISO14001全社認証（株式会社間組）を取得。それを契機にオフィス（支店ビル）における環境への取組を開始。
（2012年に安藤建設株式会社と株式会社間組が合併し株式会社安藤・間となる）
- ・ エコオフィス要領を作成《オフィスでの環境への取組み内容を具体化、明確化し展開》
- ・ 環境月間を定め活動展開《2017年からさらなる環境に対する意識向上と環境活動の定着》

【効果】

- ・ 大阪支店、営業所ビルにおける年間エネルギー量を約18.5%削減。
2013年137.88（原油・kl/年） ⇒ 2017年112.32（原油・kl/年）
- ・ 年間照明電力量を18.9%削減
2013年535,979（Kwh） ⇒ 2017年434,428（Kwh）
- ・ 大阪支店・営業所オフィス活動におけるCO2排出量を約13.8%削減
2013年2.53（t-CO2/人年） ⇒ 2017年2.18t-CO2/人年）
- ・ 環境省ライトダウンキャンペーンに参加し、支店・営業所で128kwhの削減に貢献（2018年）
（全社で264施設が参加 総削減電力量3270kwh、CO2排出削減量約1.67t-CO2）

【他事業所への普及の可能性】

- ・ 全社で『環境日常管理項目』として「オフィス活動におけるCO2排出量」・「年間エネルギー量」をモニタリング《結果分析と方策の評価見直し》
- ・ 全社の環境活動結果を『環境データ集』にまとめ、社外HPに公開（毎年9月更新）

【取組において創意工夫した点】

- ・ エコオフィス活動を要領として文書化（誰もがわかるような具体的な内容、ルール・手順の標準化）
- ・ エコオフィス活動の啓蒙（ポスター掲示、ルール・手順の表示）
- ・ 小さな節電活動でもコツコツと積上げる《例：温水便座フタ閉め活動、ポット無駄な電源OFF》
- ・ 環境月間の行事として『節電』を挙げ、身近な取組としての活動の再認識を図っている。
- ・ 『社屋環境パトロール』を実施し、環境活動状況、労働環境をチェックし不具合指導、好事例の水平展開等、継続的改善の実施。

【従業員への周知・啓発の方法】

- ・ エコオフィス要領を大阪支店ホームページに掲載《必要時にすぐ確認可能》。
- ・ 適材適所にポスター、案内等の掲示、表示《ルール・手順の見える化、注意喚起》
- ・ 環境月間活動の推進《社長の環境月間メッセージの朗読、支店長メッセージの伝達》

【取組の開始年・継続期間】

- ・ 「節電の徹底」の取組を2000年のISO14001全社認証取得から継続実施。
- ・ 「環境月間」の取組を2017年から実施。今後、取組内容を拡大させながら継続実施予定。

【取組を継続するための工夫・効果の持続性】

- ・ エコオフィス要領の作成《ルール・手順の標準化》
- ・ 適材適所にポスター、案内等の掲示、表示《ルール・手順の見える化、注意喚起》
- ・ 『社屋環境パトロール』による継続的改善《不具合是正・好事例の水平展開、方策の見直し》

【その他アピールしたい点】

- ・ 環境の中期計画『環境目的・目標3ヶ年(2016-2018年)』を策定し展開、活動結果を分析評価。
- ・ 経営トップや支店幹部他による環境に特化した環境パトロールの実施《現状把握と見直し》
2018年は47回実施（全国にて本社役員5回/支店幹部17回/担当部門25回）
- ・ 2018年、当社の環境方針を改訂し、政府が進める「第四次環境基本計画」に提唱されている基本計画と整合させ、社会の要請に積極的に取り組む姿勢をコミットメント。
- ・ 『環境方針』や『環境目的・目標3ヶ年』等はサステナビリティレポートや社外HPに公開

その他の環境に配慮した事業活動への取組

① 適正冷暖房温度の設定・クールビズの実施

- ・ 冷暖房の適正温度の設定（夏季28℃、冬季20℃）
- ・ クールビズの実施（5月1日～10月31日）《全社通達、ポスター掲示等による周知》

② 節電の励行

- ・ 前出『アピールしたい取組項目』を参照ください。

③ 節水の励行

- ・ トイレ手洗い場の水栓を自動水栓に交換

④ 省エネ・新エネ設備機器等の導入

- ・ 省エネタイプの高効率エアコン導入《2016～2017年に完了》
- ・ 執務スペースの照明を100%LED蛍光灯に交換《2017～2018年に完了》

⑤ グリーン購入の推進

- ・ 事務用品グリーン購入率UP（現在）コピー用紙100%・名刺100%・封筒100%・ファイル100%
- ・ 建設施工部門ではグリーン調達品を定め環境負荷の少ない資機材・製品調達、工法選定を推進

⑥ 自動車利用の抑制

- ・ エコ通勤《原則公共交通機関での通勤ルール》
- ・ ハイブリット車の導入《支店導入率 50%（9 台/18 台）》（2022 年までに 100%達成予定）

⑦ ごみの再資源化

- ・ ごみの徹底分別《多品目分別ボックスの設置》
- ・ コピー用紙使用量の低減活動《両面コピー、裏紙利用》

⑧ CSR活動等独自の取組

《全社（本支店共通）》

- ・ 「ISO14001 全社認定取得」（2000 年）
- ・ 本社、支店、作業所（一定規模以上）に AED（除細動器）を社内外に向けて設置（2014 年から）
- ・ 「環境法令検定」認定者の育成《環境法令の順守強化に向け 2016 年から受検。全社認定者 60 名》
- ・ 国連 SDGs に賛同し、サステナブル社会の実現への貢献に向けて 5 つの環境目標要素を特定し、貢献のあり方について検討実施中。ESG への取り組み強化。

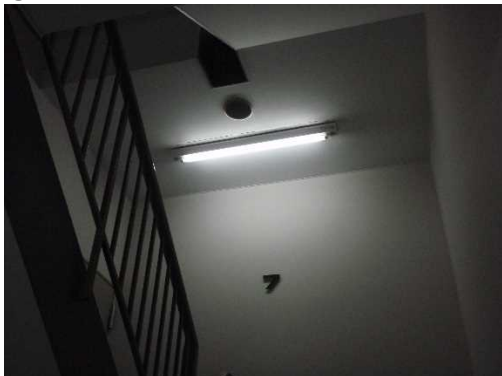
《支店》

- ・ 「階段フィットネス」の実施（2017 年から実施）
- ・ 大阪支店の環境社会貢献活動「大阪支店周辺清掃活動」等（2013 年から参加）
- ・ 神戸営業所の環境社会貢献活動「身のまわりクリーンアップ作戦」等（2013 年から参加）
- ・ 支店担当部門による支店管轄作業所を対象にした環境に特化したヒアリングを展開。環境活動の不足事項、改善事項に対する支援、指導（2014 年から実施。実績は 22～30 作業所/年）
- ・ 外勤若手社員に対して環境基礎教育の実施（2014 年から実施。1 テーマ/年で実施）

①適正冷暖房温度の設定：夏季28℃以上、冬季20℃以下



②節電の徹底：人感知センサー組込照明



・「利用時のみ点灯」の実施：トイレ、洗面所



・「温水便座フタ閉め」の実施



・「業務終了後、休日のポット電源OFF」の掲示



③節水の徹底：自動水栓



④省エネ・新エネ設備機器等の導入：高効率エアコン、LED照明



⑤事務用品グリーン購入の推進：古紙混入コピー用紙



⑦ごみの再資源化



⑧CSR活動等独自の取組

・「環境月間の制定・展開」：垂幕、ポスターの掲示



・「階段フィットネス」の実施：エレベーターホール、階段踊り場に掲示



・環境社会貢献活動：大阪支店周辺の清掃活動、地域貢献活動



■関西エコオフィス奨励賞

宣言オフィス名	イオンモール四條畷	
ホームページURL	http://shijonawate-aeonmall.com/	
オフィスの概要	所在地	大阪府四條畷市砂四丁目3番2号
	業種・業務内容	ショッピングモール運営
	従業員	21名
主な取組項目	節電の取組として、年間電気使用量をベースに月割り予算・日割り予算化し、日ごと・週ごとの使用量を確認することにより、過剰使用・計画以上の使用を抑制。また、昨年度の天気・気温をデータベース化し、比較することにより、空調稼働に伴う電気使用量増減の原因を客観的に追究。	

【取組の具体的内容】

電気使用量削減の為、年間電気使用量をベースに、月割り予算・日割り予算化し管理・コントロールしております。

特に日割り予算については日毎、週毎に使用量進捗を確認する事により、過剰使用・計画以上の使用を抑制しています。管理にあたっては、電気使用量も最も多い「空調機」に目を向け、当日の天候や気温を基に細かい調整を行っております。また昨年度の天気や気温もデータベース化し、過去のデータと比較することによって、空調稼働に伴う電気使用増減の原因を客観的に追求できるような仕組み作りもしております。

また、空調はガス・電気の併用である為、夏場はガス吸収式の先行稼働により電気使用量を削減しております。

【取組を始めた契機・経緯】

イオンモールでは2012年より「イオンのecoプロジェクト」を実施しており、イオンモール全体として2020年度に2010年度比でエネルギー使用量50%削減を目標に掲げています。

当モールは開業から3年が経過した事し年間の使用量の実績把握が出来たことから、エネルギー使用量のうち特に割合を占める電気使用量の削減に向けた取り組みを行っております。

【効果】

2016年度の電気使用量(共用部)と比較し、2017年度は約12%の電気使用量削減を行い、CO₂削減を行いました。

また今年度上期(3月度~8月度)の電気使用量(共用部)につきましても、2017年度比約9%の削減を行っております。

【他事業所への普及の可能性】

イオンモールでは環境マネジメントシステムを構築し、事業部門ごとに目標を制定し汚染を予防する体制を構築しております。

当事業所の電気使用量削減への取り組みは本年度の経過報告として本社会議へ報告しており、当事業所のみならず水平展開できる体制を構築しております。

【取組において創意工夫した点】

- ・ 電気使用量を日割り予算化し、日々管理・調整している点
- ・ 空調機使用に伴う電力使用を客観的に判断するため、当年度天候・気温の記録はもちろん前年度天候・気温などをデータベース化して比較している点

【従業員への周知・啓発の方法】

日割り予算に対する電気使用量について、設備員のみならず、事務所スタッフでも確認を日々行っております。

【取組の開始年・継続期間】

2016年度より継続して取り組んでおります。

【取組を継続するための工夫・効果の持続性】

事務所スタッフ・設備員等によるミーティングを毎日実施しており、ミーティング時に前日・当日中の使用量を確認、報告内容により当日の過度な使用がないよう対応しております。

【その他アピールしたい点】

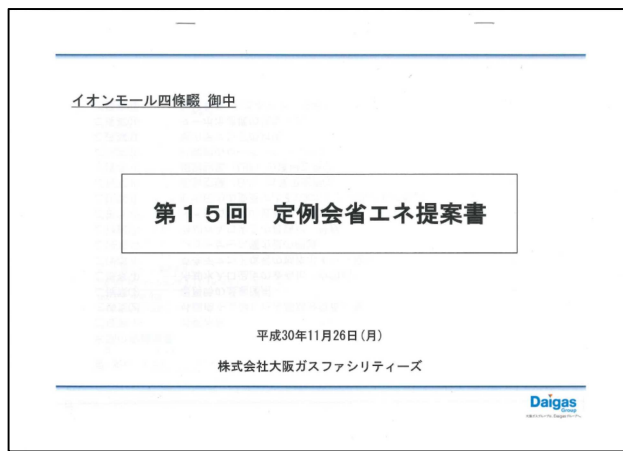
事務所内での電気使用量削減の為、不要な箇所の電気の消灯のほか、窓への遮光フィルムの取り付けを行っております。

その他の環境に配慮した事業活動への取組

- ・ 夏季は冷房 28℃設定とクールビスの奨励、冬季は暖房 20℃設定の実施
- ・ 女性用お手洗いへの節水器導入
- ・ エコマーク製品がある場合は出来る限り購入
- ・ 植栽帯の除草、清掃の実施
- ・ 電気自動車利用による環境負荷低減
- ・ バス乗り入れ路線の増設
- ・ 紙類のリサイクル化



防災センターでの中央監視盤にて状況確認



目次

提案No	提案内容	削減効果	削減率	削減効果	削減率	削減効果	削減率
①	外気冷却	削減	○	44,000	0	680,000	0
②	外調機を活用した冷房部分負荷対策	削減	×	-	-	-	-
③	暖房時の最適運用	削減	○	23,000	0	489,000	0
④	冷却水入口温度の最適化(中間期)	削減	○	23,000	0	489,000	0
⑤	夏季ワマンド稼働の動作ポイント設定	削減	○	-	-	-	-
⑥	ショーケース電力量の削減	削減	×	-	-	-	-
⑦	冷却水入口温度の最適化(夏期)	削減	○	0	0	0	0
⑧	冷却水出口温度の最適化(11月～)	削減	○	21,000	0	316,000	0
⑨	社団法人の要望による2次ポンプ稼働台数の削減	削減	○	5,800	0	81,070	0
⑩	個別空調(HPF)の運用変更①	削減	○	57,267	0	693,000	0
⑪	個別空調(HPF)の運用変更②	削減	○	245,002	0	3,176,300	0
⑫	外調機のローテーション停止	削減	○	-	-	-	-
⑬	電力ワマンドの対策	削減	○	-	-	-	-
⑭	ターボ冷凍機の効率向上	削減	○	14,000	0	110,000	0
⑮	冷水出口温度の改善(新年度より1℃)	削減	○	6,000	0	80,000	0
⑯	ビル空調の稼働時間削減	削減	○	30,000	0	370,000	0
⑰	冷房のローテーション運用変更	削減	×	-	-	-	-
⑱	熱源機稼働の稼働率アップの運用変更	削減	○	220	-	3,300	-
合計				408,164	0%	5,992,400	0%

※削減効果は、電力基本料を100円/kWh、電気基本料を1円/kWh、ガス基本料を1円/kWh、ガス基本料を1円/kWhで算定

定例会資料(抜粋)

■関西エコオフィス奨励賞

宣言オフィス名	大阪厚生信用金庫	
ホームページURL	http://www.co-sei.co.jp/	
オフィスの概要	所在地	大阪府大阪市中央区日本橋 2-8-14
	業種・業務内容	信用金庫業務
	従業員	538名
主な取組項目	節電の取組として、夏期（7月、8月）の終業時間を15分～30分繰上げ。例年夏期は定時退庫を励行していたが、より節電を意識するために始業時間は変更せず終了時間だけを繰上げ。	

【取組の具体的内容】

夏期（7月、8月）の終業時間を15分～30分繰り上げています。例年夏期は定時退庫を励行していましたが、より節電を意識するために、始業時間は変更せず終了時間だけを繰り上げました。

【取組を始めた契機・経緯】

東日本大震災が発生し、全国的に節電の動きが広がりました。これを契機に当庫でも節電について話し合い、電力使用量の削減を図るために、この取組を始めました。

【効果】

継続して毎年取組んでいることで、取組の効果を出し続けることができています。

2014～2017年の7月・8月だけの合計でも、2013年と比べて下の図の効果を出すことができました。この取組は2011年から継続して行っていますので、取組開始当初と比べるとさらに多く節電することができています。

勤務時間の短縮は照明機器・空調・OA機器等の稼働時間を減らせるので、高い節電効果が得られます。

	削減量	目安
時間外勤務時間数	約 5,932 時間	
電力使用量	約 42,672kWh	
二酸化炭素排出量	約 18,562t	杉の木 1 万本が吸収する二酸化炭素の約 132 年分

【他事業所への普及の可能性】

この取組は職員一人一人が「1分でも電力の無駄遣いを抑えよう」と意識することが大切で、また、当庫にしか取り組むことのできないものでもありません。したがって、当庫内だけでなく、お客さまや他の事業所にも実践しやすい取組です。当庫は業界の会議等の集まりの場で他の信用金庫へこの取組の報告を行い、この取組が広く普及するよう努めています。

【取組において創意工夫した点】

取組当初は庫内通知を行い、前日の退庫時間のランキングを全店に毎日周知し、職員へ定時退庫の意識づけを行いました。現在では毎日のランキング通知は行っていませんが、月ごとに全店に通知しています。

また、各店の退庫時間をただ通知するだけでなく、取組状況のよい店舗とそうでない店舗で色分けしています。これによって、現状に満足せずさらなる節電を意識しやすいようにしています。

【従業員への周知・啓発の方法】

前述の通り、庫内通知を行っています。これによって当庫の全職員に周知することができており、7月・8月の早帰りによる節電は当庫を挙げての取組となっています。

【取組の開始年・継続期間】

この取組は2011年7月より毎年継続して行っており、今年で8年目になります。

【取組を継続するための工夫・効果の持続性】

この取組を毎年7月・8月の恒例として全職員の共通認識をつくることで、継続して今後も取り組めるようにしています。現在では、この取組を通じて少しでも多く節電するためにチームプレーでの業務効率化を職員に意識づけることができています。

【その他アピールしたい点】

さらなる節電の意識づけのために、本部建物にはデマンド監視システムを設置しています。このデマンド監視システムのモニターでは、現在使用されている消費電力や今年度消費した電力量の合計がグラフなどでわかりやすく表示されています。このモニターを目につきやすい1階入口に設置することで、節電について職員が強く意識できるよう工夫しています。

その他の環境に配慮した事業活動への取組

① 適正冷暖房温度の設定・夏冬エコスタイル

夏（5月～10月）は室内温度28度、冬（12月～3月）は室内温度20度に設定しクールビズ、ウォームビズの推奨も行っています。

② 節電の励行

職員のエレベーター使用自粛を進めています。

エレベーターを使用していない間は内部の蛍光灯も消えるようになっており、エレベーターの使用自粛は単にエレベーターを動かすための電力だけでなく蛍光灯等の関連する電力の消費も減らすことができます。

③ 緑化の推進

当庫は毎年緑のカーテン運動を行っており、今年で11年目になりました。今年は緑のカーテンとして、各営業店でゴーヤやキュウリを育てました。ゴーヤやキュウリ1本1本の光合成の効果は地球温暖化対策としては微力ではありますが、緑のカーテンとして遮光や気化熱の効果があるので、当庫が冷房を弱めるために役立っています。

この緑のカーテン運動の様子は夏の時期（今年は6月～8月）に毎月庫内通知で周知をはかっており、職員の意識向上に役立てています。また、緑のカーテンの様子は当庫ホームページのエコblog（<https://blog.goo.ne.jp/sheshenina>）で継続的に掲載しており、当庫内外を問わず他の事業所でも緑のカーテンが取り入れられるよう工夫しています。より多くの方に緑のカーテンについて知ってもらうためにエコblogの閲覧者数が増えるようにも工夫しており、最近では1日の閲覧者数が100人を超える日も珍しくはなくなってきました。

④ 自動車利用の抑制

当庫職員は公共交通機関を使用して通勤することとしており、自動車での通勤は原則認めておらず、許可なく自動車通勤した場合には重い罰則も設けています。したがって、当庫の従業員571名が通勤のために自動車を使うことで排出される二酸化炭素はほぼゼロです。

(緑のカーテンの様子)



(エコ blog (一例))

エコ blog

大阪厚生信用金庫が行っている様々な取り組み、大阪やエコにいいことをいろいろご紹介いたします。

プロフィール



★ 読者になる

性別
男性

都道府県
大阪府

自己紹介
こうせいエコエコキャンペーンのイメージキャラクター「エコにい」です。よろしくお願ひします。3兄妹の長男で、日々草花への水遣りと月1回の散髪(頭部分の緑の手入れ)は欠かしません。

ログイン

[編集画面にログイン](#)

緑のカーテン成長記録
2018年08月10日 | 緑のカーテン

8月ですね 🌻

蒸し暑い日が続いていますが、元気にお過ごしでしょうか。

さて、大阪厚生信用金庫では、毎年恒例の緑のカーテン運動を行っておりますが、今回は、その成長状況をご紹介します！ 🐱🐱

■平野支店(ゴーヤ)



(6月)



(7月)

着実に大きく育ってくれています！ 🐱🐱

gooブログ お知らせ

- 🔦 gooブログ、リニューアルします
- 📄 「スタッフにアピール」いただいた記事の掲載先が増えます
- 🎵 gooブログ、アプリを使ってみよう
- 🌱 【追記】つぶやきまどめ投種の不具合について

カレンダー

2018年12月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

前月 次月



■関西エコオフィス奨励賞

宣言オフィス名	銀鈴タクシー株式会社	
ホームページURL	https://sites.google.com/ginreitaxi.com/siten/	
オフィスの概要	所在地	京都府京都市南区上鳥羽南鉾立町27番地
	業種・業務内容	旅客運送事業
	従業員	200名
主な取組項目	2か月毎のエコドライブ研修の実施、燃費データの管理等によるエコドライブの実践。これにより、交通事故防止と燃費向上に繋げている。	

【取組の具体的内容】

- ・ エコドライブの実践による交通事故防止と燃費向上
- ・ グリーン経営の推進（ごみ（エンジンオイル・廃タイヤ）の再資源化・ゴミの分別・エコ商品の購入）
- ・ 環境保全の取組（2ヶ月毎のエコドライブ研修の実施、燃費データの管理等）

【取組を始めた契機・経緯】

昭和55年秋の全国交通安全運動から討議し、昭和56年春の全国交通安全運動にて京都九条警察署管内安全パレードに参加

【効果】

- ・ 各警察署・京都府運転免許試験場等に安全ダルマを寄贈
- ・ 毎月弊社乗務員が各安全ダルマの清掃活動実施
- ・ 交通事故防止に全乗務員が祈念し、交通事故削減

【他事業所への普及の可能性】

- ・ エコドライブに関する社内外の取組であるため、運輸事業者は実施可能
- ・ 地球環境への配慮が結果、交通事故防止などにもつながり、好循環が生まれる

【取組において創意工夫した点】

- チラシやポスターで周知している。
 - ・ 事務所における環境保全の推進
 - ・ ゴミを減らしましょう
 - ・ 社内掲示板へのポスターの掲示
 - ・ 事務所入り口へのエコドライブ推進日垂れ幕
- 会議や朝礼などで周知している
 - ・ 毎月1日と15日は環境保全推進日として、朝礼点呼を実施して、エコドライブを心掛け、アイドリングストップの徹底を周知している

《点呼風景写真》



【従業員への周知・啓発の方法】

毎年2ヶ月毎に班会議を実施して、エコドライブの実践、燃費向上についての研修会を開催し、地球温暖化防止対策について一人ひとりができることを提案し、実践する。



《資料》

- 車のトラブル防止アドバイス
- 地球温暖化について
- 整備点検における環境項目
- エコドライブ活動重点目標
- ECO エコドライブ
- 誰でもできる エコ運転術
- エコドライブ燃費目標
- アイドリングストップ 実施基準
- 環境にやさしい運転（エコドライブ）テクニック 15
- 省エネ運転のポイント

【取組の開始年・継続期間】

昭和 55 年から現在も継続中

【取組を継続するための工夫・効果の持続性】

- ・ 会社と乗務員が一丸となって取り組む。
- ・ 担当者をはじめとして、会社に取り組んでいる姿勢をアピールする。

【その他アピールしたい点】

- ・ 報奨金制度で事故防止コンクールを実施しており、優秀班には賞金が授与されるなど、従業員のモチベーション向上に努めている
- ・ 点検整備項目もエア・クリーナーの目詰まりの確認など、環境保全の観点も取り入れている。

《会社内のゴミ箱はすべて分別》



《車庫内で洗車時に通常使うホースの太さを変えて、水の節約運動》



その他の環境に配慮した事業活動への取組

《環境理念》

当社は法規制を遵守して、環境保全活動を推進します。

銀鈴タクシー株式会社は、「京都議定書」を生み出した京都を基盤とする旅客運送事業として、環境保全活動に取り組み、法令等を遵守し、創業以来培う「安全」「快適」「信頼」を基本とする高品質なサービスの提供により、地域に貢献し、企業活動と自然環境の調和を目指して社会的責任を果たします。

《重点推進項目》

- ① 環境にやさしい運転（エコドライブ）の推進を積極的に行います。
- ② 従業員に環境教育を実施します。
- ③ 車両の排気ガスや騒音の低減に努めます。
- ④ 法令等を遵守して廃棄物の適正処理を行います。
- ⑤ グリーン購入を推進します。

《エコドライブ燃費目標平成 29 年度》

燃費	=	走行キロ	÷	充填燃料	(ℓ)
小型 (LPG)					6.8km/リットル
中型 (LPG)					5.3km/リットル

《事業所内での環境保全活動推進について》

環境保全活動推進のため、事業所内で下記の取り組みを実施します。

1) 事業所内での実施項目

- ①事業所内の空調機の適正温度（冷房：26度／暖房：24度）設定に努める。
- ②不必要な照明の消灯を徹底する。
- ③コピー用紙等の使用削減に努める。
- ④ゴミの分別回収に努める。
- ⑤使い捨て製品の購入を控える。
- ⑥エコマーク製品等を優先的に購入する。

※ 実施にあたっては、各部署において現状を踏まえ創意工夫して行う。

2) 事務所内でのクールビズの実施

空調機の適正温度（冷房：28度）設定に努めるにあたり、来期も予想される暑さに耐えることができる勤務環境を確保するため、事務所内での軽装勤務を実施する。

実施内容：実施期間中は、事務所内でのカットシャツの着用・ノーネクタイ等の軽装での勤務を認める。来客対応時については適宜ルールを定める。

実施期間：平成 29 年 6 月 1 日から平成 29 年 9 月 30 日まで

《参加》

グリーン経営認証 エコ京都 21 京都府エコドライブ宣言事業所
京都市優良エコドライブ推進事業所
平成 29 年度エコドライブコンクール 優良事業所認定

1. 京都議定書に基づき、環境問題に取り組むエコドライブ活動

弊社は京都に創立して 60 周年をむかえ、京都議定書の使命の元、エコドライブ活動は事故防止活動に繋がると認識して、エコドライブ活動に取り組んでいます。

2. エコドライブ推進日

毎月 1 日と 15 日は一斉点呼を実施しており、この日をエコドライブ推進日として、アイドリングストップの励行、地球温暖化に対する CO2 の削減を実行することで燃費の向上など、環境問題に取り組む決意を乗務員一同に周知徹底させています。

3. 環境問題教育の実施

2 ヶ月毎に、社内の各班毎に車両点検及び班会議を実施。エコドライブ推進事務局担当者がエコドライブ環境保全研修資料を作成し、資料に基づいて、全乗務員と環境問題について考え、運輸業界が取り組むことのできる環境保全活動を実施する。これにより、全乗務員のエコに対する意識が向上し、アイドリングストップを励行することで燃費が向上、エコドライブ運転をすることで、危険予知運転の向上に伴い、危険運転や速度超過などをしなくなり、交通事故が減少しました。

法定点検なども、整備士がオイル交換・エアコンフィルターの目詰まり等を入念にチェックしている。また、入出庫時に暖気運転している乗務員を見かけたら、エンジンを切るように促したり、当該乗務員がいない場合は、他の乗務員同士でも常に気を配って、皆でアイドリングストップに取り組んでいます。

4. 燃費データの管理

全車両の毎日の総走行距離・燃料給油量を管理し、月毎に燃費データを出して、掲示することで乗務員の燃費向上意識が高まる。

5. 低燃費車両の導入

平成 20 年からアイドリングストップ車を導入し、現在 95%がアイスト車両



6. 安全運転機器

営業車がタクシーである事から、お客様の要望によりあらゆる道路を通行するので、事故防止対策として、全車両にバックアイカメラ、ドライブレコーダーを設置しています。2ヶ月毎に事故惹起者やヒヤリハットに対して、ドライブレコーダー映像を解析しながら、事故防止や危険についての指導を実施しています。

7. 社内運転適性診断実施

毎年、春の全国交通安全運動週間に社内に設置した運転適性診断のアクセスチェッカーパソコンに接続されたハンドル・ペダルセットを使ってドライバーの運転に必要な状況判断や操作の正確さ、クセなどをデータとして表わし、乗務員自身の運転適性の自覚を促し、また全乗務員の運転特性を診断して、その結果を運行管理者が指導を行う。

8. 無事故ダルマ運動

弊社では、誰もが交通事故は絶対に起こしてはならない、事故に遭いたくないと交通安全の願いをもたない者は無い。この願いを行動で統一化するために全従業員の共感のもとで発想された。昭和 55 年秋の全国交通安全運動から、安全ダルマ作成の討議が始まり、昭和 56 年春の全国交通安全運動で、初代ダルマが完成し、当時京都府警九条署管内交通安全パレードに参加しました。ダルマ制作については、全従業員総がかりで、大工の経験者、左官経験者、工学を学んだ者等で討議が積み重ねられて完成しました。その後も毎年春の全国交通安全運動、夏の事故防止府民運動、秋の全国交通安全運動、年末の事故防止府民運動に無事故ダルマ作成を繰り返すなかで、京都府警察交通企画課の指導のもとで、京都市内各署に無事故ダルマを配置させて頂きました。更には、自動車教習所や小学校にも配置させて頂いております。

<京都市内外配置場所>

九条署（現在南署）桂署（現在西京署）伏見署、太秦署（現在右京署）宇治署、上鴨署（現在北署）中立売署、田辺署、西陣署（現在上京署）堀川署（現在中京署）五条署（現在下京署）京都陸運支局、京都運転試験場、ヤサカ観光バス株式会社、ニュードライバー教習所、千鳥苑、久美浜小学校他

毎月 1 回各警察署の安全ダルマの掃除を全乗務員各班で行っています。

また、報奨金制度で優秀な班には報奨金を授与しています。事故防止コンクールに於いては、社員全員が一丸となって、エコドライブ・事故防止に努め、優秀なチームには賞金が授与されます。



ニュードライバー教習所



ヤサカ観光バス株式会社



堀川署無事故ダルマ引退式

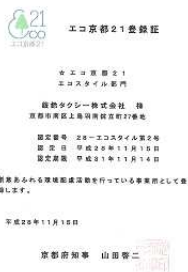
平成 24 年 3 月 15 日京都府警察堀川署が中京署として移転するに伴い、無事故ダルマの引退式に警察官と銀鈴タクシー株式会社社員と光林保育園の園児さん達とのお別れ会を行いました。



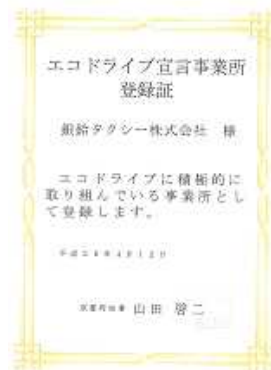
銀鈴タクシー株式会社本社無事故ダルマ

<優良エコドライブ推進事業所認定>

平成 28 年 10 月 15 日 京都第 1 号優良エコドライブ推進事業所に認定され、同 10 月 24 日に京都市役所本庁舎にて認定式が行われました。



エコ京都 21 登録



エコドライブ宣言事業所登録



エコドライブ推進事業所登録



エコドライブ優良活動認定証 平成 23 年事故防止コンクール優秀賞 17 年事故防止コンクール金賞



平成 2 8 年事故防止コンクール奨励賞 平成 2 6 年事故防止コンクール奨励賞

■関西エコオフィス奨励賞

宣言オフィス名	株式会社 DINS 堺 RAC 事業所・バイオエタノール事業所	
ホームページURL	http://www.dinsgr.co.jp/dins_sakai/	
オフィスの概要	所在地	大阪府堺市西区築港新町四丁2番3号
	業種・業務内容	産業廃棄物の収集運搬、産業廃棄物・一般廃棄物の中間処理、 廃木材からの燃料用バイオエタノール製造
	従業員	96名
主な取組項目	生産性向上の取組を進めることが最大の環境負荷低減（設備稼働時間削減による電気使用量削減など）になるとの考えから、部署責任者・キーマンを対象に、課題解決能力向上を目指して意識改革を伴った社内研修を実施。	

【取組の具体的内容】

株式会社DINS堺の部署責任者・部署キーマン対象に課題解決能力向上を目指して『意識改革』を伴った社内研修を実施しました。

教育の対象：部署長クラス（部署責任者）、部署キーマン（グループリーダー・チームリーダー）対象
 実施体制：部署長クラス、部署キーマンの2コースに分けて月1回～2回実施
 実施方法：講義、ディスカッション方式

【取組を始めた契機・経緯】

社内研修の目的はゼロ視点での業務を見直すことで業務改善の枝葉が広がり、改善の成果が実を結び、働き方改革（生産性向上）へとつなげるのが狙いです。

働き方改革（生産性向上）の取組を進めることが最大の環境負荷低減（設備の稼働時間削減による電気使用量削減など）の取組との考えで積極的に改善提案に取組んでいます。

【効果】

2017年度は改善提案件数が20件と大幅に増えました。（2016年度 5件、2017年度 20件、2018年度 5件）

ロジカルツリー、特性要因図などの課題抽出方法やQC7つ道具と呼ばれる課題解決方法についての研修を実施しました。これまでも経験や感に頼って改善を実施してきましたが、今回課題抽出方法や課題解決方法を部署責任者・部署キーマンなどが身に付けたことで今までは構想はあっても進め方がわからず止まっていた改善も実施でき、2017年度は改善件数が大幅に増えたと考えています。

【他事業所への普及の可能性】

社内研修の実施内容についてはDINS堺も一員である大栄環境グループの会議で発表しています。実施した改善については改善提案制度（採用された案件は表彰対象）を活用し改善提案書を提出。他部署でも水平展開可能な様に改善した資料を社内情報共有ツールで掲示しております。なお、実施した改善についてはPDCAサイクルを回して、より良い職場環境を目指していきます。

【取組において創意工夫した点】

働き方改革（生産性向上）につながる改善を実施しました。代表的な物を4件掲載します。

① 石膏ボードリサイクル設備、終業時間の時間短縮

<改善前>

新設プラントのため、終業点検機器の把握と方法を課員全体が周知しなけりなかつた。

3名×1時間の残業時間

<改善後>

点検方法や機器の絞り込みを実施。1人でできるように改善。

1名×0.5時間の残業時間

② 混合廃棄物破碎・選別設備清掃作業の簡易化

＜改善前＞

清掃の際、コンベヤカバーを開閉式に加工

作業時間 5分、人員 2名

＜改善後＞

コンベヤカバーを開閉式に加工

作業時間 20秒、人員 1名

③ 混合廃棄物破碎・選別設備清掃作業の簡易化 2

＜改善前＞

ダストコンテナの荷を持ったまま階段を上がりコンベヤの途中の点検口より排出

作業時間 10分

＜改善後＞

コンベヤの最も低い位置にダストシュートを設置、階段の昇降をなくし作業短縮

作業時間 7分

④ 車両待機時間・選別時間短縮

＜改善前＞

廃棄物ストックヤード堆積量が多く、荷卸し場所が少ないため車両待機時間増加、選別作業効率低下

＜改善後＞

廃棄物ストックヤード堆積量が少ない、荷卸し場所が多いため車両待機時間低減、選別作業効率向上

平均待機時間 5分/台短縮

【従業員への周知・啓発の方法】

毎月実施している周知会で全従業員対象に『意識改革を伴った社内研修について』の説明を実施しました。

【取組の開始年・継続期間】

2017年4月1日～継続中

【取組を継続するための工夫・効果の持続性】

DINS界は2008年11月に環境経営システム、エコアクション21の認証登録をしております。

エコアクション21で求められる継続改善の取組を適切に実行するための教育を毎年実施する様に求められています。部署長、部署キーマンが部署内で社内研修で身に付けた知識などを部下に教育することで効果の持続性が期待できます。

【その他アピールしたい点】

2017年度で人材育成の研修は終了しました。2018年度は働き方改革（生産性向上）やガバナンス強化委員会、SDGs推進プロジェクトなど部署長、部署キーマンが各部署で主体的に取組んでいます。

その他の環境に配慮した事業活動への取組

- ① 冷暖房スイッチ付近に適正温度の啓発用ポスターを表示。
- ② デマンド監視により適切な電気使用量を管理しています。
- ③ 洗濯のまとめ洗いを毎月初めに朝礼で呼び掛けています。
- ④ 年に1回はグリーン購入担当者が教育を実施し全従業員のグリーン購入に対する意識向上を目指しています。
- ⑤ 事業所の花壇を毎月花が咲いているように維持管理しています。チューリップの球根は毎年再利用しており、経費が少しでも掛からない様に工夫をしています。
- ⑥ 毎月燃費を算出、タイヤの空気圧チェックも毎月実施しています。
- ⑦ 事業所内移動は自転車での移動、近隣のグループ会社との乗合などで自動車利用を抑制しています。
- ⑧ ダンボール、紙くず、スチール缶、アルミ缶、ペットボトルを資源として回収しています。

人財育成 研修カリキュラムと様子

講師は、嶋本取締役！

部署長クラス（部署責任者対象）

全16回 月2回 2時間/回 受講数8名

◆研修カリキュラム
文章作法、管理会計、安全衛生、メンタルヘルス、環境管理、法令管理、課題抽出力、課題解決力

※最後はDINS堺経営層の前で「嬉しいをプレゼン！」

GL・TLクラス（部署キーマン対象）

全8回 月1~2回 2時間/回 受講数9名

◆研修カリキュラム
安全衛生、課題抽出力、課題解決力

※課題解決シートを作成し、プレゼン！

人財育成 「研修の実施」による育成

働き方改革の実現には、意識改革を土台とした人財育成が必要

部署長クラスのメンバーたち！

スキルUP、DINS堺リーダー研修、チームワーク

吉岡GL、柳GL、室賀GL、山下課代、今田課長、大船課代、山本課代、辻GL

部署責任者・部署キーマンの課題解決能力の向上を目標に「社内研修」を実施！

人材育成 研修カリキュラムと様子

石膏ボードリサイクル設備、終業点検の時間短縮

改善前		改善後	
稼働当初	点検	現状	点検
時間	20:00~21:00	時間	19:00~19:30
人員	3名	人員	1名
残業時間	1:00	残業時間	0:30
合計	3:00	合計	0:30

◆改善前
新設プラントのため、終業点検機器の把握と方法を課員全員が周知しなければならなかった。結果、残業時間が増加。

◆改善後
点検方法や機器の絞り込みを実施。課員一人で協力会社に作業指示ができるように。課員の残業時間も減少！

のべ2.5時間/日の労働時間削減！

人材育成 『研修の実施』による育成

混合廃棄物破砕、選別設備清掃作業の簡易化

改善前		改善後	
◆コンベヤカバーの加工 清掃の際、コンベヤカバーの固定とボルトを8本外すのに人員が2名必要。作業準備に約5分、指詰めリスクも存在。	作業時間：5分 人員：2名 リスクレベルⅡ	◆カバーを開閉式に溶接加工 コンベヤ登り口のカバーを開閉式に加工。簡易化に成功。作業時間、作業効率、リスクレベルも低減。	作業時間削減！ 効率化！ より安全に！

ボルトが8本も！大変！ → 開閉がラク！

● ボルト位置

改善事例①

混合廃棄物破砕、選別設備清掃作業の効率化②

改善前	改善後
◆ダスト排出場所の移設 ダストコンテナの荷を持ったまま階段を上がりコンベヤ途中の点検口より排出（作業時間10分）	◆コンベヤの加工 コンベヤの最も低い位置にダストシュートを設置。階段の昇降を無くし作業短縮（作業時間7分）

高さ70cm → 高さ60cm

回り道で非効率！階段の高さも危険！ → 階段の高さも低くラク！

改善事例②

車両待機時間・選別作業時間短縮

改善前	改善後
堆積量が多い → 車両待機時間増加 選別作業効率下がる	堆積量が少ない → 車両待機時間減少 選別作業効率上がる

◆ 荷下ろし場所、ストックヤードの拡張により平均待機時間 5分/台 短縮！

◆ 総待機時間 23時間/月 短縮！

大塚環境グループ

改善事例③

2018 DINS Sakai Environmental activity report

発行日：平成30年6月30日
対象期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

株式会社DINS堺 環境活動レポート

改善事例④

私たちがDINS堺です。

ここでDINS堺の仲間を紹介します。
強い個性と結束力、熱い気持ちは日本一です。

この環境レポートにはわたしたちの活動がいっぱい載っています！
最後まで是非ご覧ください！！

RAC事業所、バイオエタノール事業所

■関西エコオフィス奨励賞

宣言オフィス名	株式会社ナンゴー	
ホームページURL	http://www.nango-kyoto.co.jp/	
オフィスの概要	所在地	京都府宇治市白川川上り谷 80-36
	業種・業務内容	はん用機械器具製造業
	従業員	15名
主な取組項目	異業種の工場見学の受入れ、環境に配慮した製品の開発設計、工場周辺の清掃等啓発活動、加工技術の向上、生産活動の改善をテーマとして取り上げ、すべての社員が環境負荷低減活動を積極的に実践。	

【取組の具体的内容】

(株)ナンゴーは事業活動を行う上で、環境影響を常に認識し、環境汚染の予防を推進するとともに、環境マネジメント活動の継続的改善を図っています。具体的に、①異業種の工場見学の受入②環境に配慮した製品の開発設計③工場周辺の清掃等啓発活動④加工技術の向上⑤生産活動の改善、をテーマとして取り上げ、組織で働く全ての社員が環境負荷低減活動を積極的に実践しています。

(KESステップ2SR認証登録)

昨今、製造業の「六重苦」と言われる中、弊社の事業活動においても、短納期対応、電力料金値上げ・材料代の高騰による製造原価の上昇、又、人材の継続確保等、課題はありますが、まず、生産活動を行う上での基本となるべく、5S活動に力を入れ、プロジェクターリーダーを選任し、「社内整理整頓プロジェクト」を立ち上げています。

<https://www.nango-kyoto.co.jp/syanaiproject/>

【取組を始めた契機・経緯】

環境活動を行う上で、何を基準に進めれば良いのかを模索している中、京都議定書発祥地、京都から発信された「環境マネジメントシステム」の認証にチャレンジしました。KESステップ1(2004年7月認証)、KESステップ2(2006年6月認証)、KESステップ2SR(2012年2月認証)と、段階を追って更新し、社内における環境への取組の基準・方向性を明確にしました。又、製造業の基本、5S活動もプロジェクトリーダーを決め(開始当初は3S活動)油まみれ・暗い工場のイメージを払拭するべく、整理整頓にも力を入れています。

【効果】

加工業務を行う上で、本来あってならない不良ですが、時には不良が出てしまい、資源の無駄につながります。社内で行う業務を全てIoTによる見える化を行い、業務の共有とデータベース化を図ることにより、不良の減少に繋がっていて、それが資源の削減・不要な購入品の削減、すなわち、業務の効率化に繋がっています。2014年度に工程内不良率は0.95%だったものが2018年度には、0.50%と、約50%の減少につながっています。(別途グラフあり)

【他事業所への普及の可能性】

株式会社ナンゴーでは、ホームページ上に「社内整理整頓プロジェクト」というページを作っていて社内の環境活動が見える化し、弊社のホームページを閲覧して頂いている全ての方に公開しています。その活動を見てくださった方から「どのように活動しているのか?継続できるのは何故?実際に現場を見てみたい!」などの問い合わせが多数あり、毎年多くの工場見学も受け入れております。実際、工場内をご覧頂いた方々には、弊社の取組をご説明し参考にして頂き、環境への取組を弊社だけに留めず、広く普及活動にも力を入れています。

【取組において創意工夫した点】

環境活動の一つでもある5S活動ですが、弊社では、5S活動の中でも整理・整頓を特に注視し、ボトムアップによる改善活動に力を入れています。例としては、工具やツールを整理・リスト化して、無駄なダブリ購入や探す手間をなくし、効率を追求しています。

それは、各々が日頃から業務を行う上で改善すべき点を見つけだし、改善策を講じています。その各々の改善を(ビフォー・アフター)月に一度5Sパトロールと称し、5Sリーダーが巡回し、各々が改善事例を報告しています。その報告をまとめ、四半期ごとに投票と表彰、及び改善内容の共有と総括を行い、

期末には年間グランプリを投票・表彰しています。

【従業員への周知・啓発の方法】

環境活動の基本の一つでもある清掃においては、毎日の清掃はもちろんの事、工場周辺清掃を、月に一度、決められた日程で全社員で実施する 5S 工場周辺清掃日があります。業務においては、社員一人一人に PC or タブレットを貸与しており、社内の業務日程、製造管理を、クラウド上にあげ、IOT による見える化で共有及び周知徹底を図っております。又、毎月開催のインプル会議（弊社独自の命名でインプルーブ（向上）からきています）では、環境の問題だけでなく、技術力の向上を目的とした社内テストや、改善報告、不良報告、新技術報告、技術相談など、モノ造りの製作に欠かせない効率化を図るべく話し合いを行っています。

【取組の開始年・継続期間】

KES の「環境マネジメントシステム」の認証については 2004 年～継続中。

5S 活動は 2011 年～継続中（当初は 3S 活動から開始）

（5S パトロール/5S グランプリ表彰 2013 年～継続中）

インプル会議は 2012～継続中。

【取組を継続するための工夫・効果の持続性】

社内全体を、IOT による見える化で社内の業務日程を周知徹底していますが、業務内容（例えば、工場周辺清掃の日）の重要課題について、うっかり忘れを防止するため、毎日行っている朝礼にて、再確認しています。IOT に特化するだけではなく、人と人との関わりをも大切にしています。

又、工場見学の受入れがあるときは、お越し頂いた方にアンケートを記入していただき、頂いたご意見も参考にして、良い職場環境となるべく日々進化させ続けています。

【その他アピールしたい点】

5S 活動（改善活動）が業務の一環になっているからやらされているのではなく、社員全員が各々改善策を自ら見つけ出し、人として向上していけるよう活動に積極的に取り組んでいます。

又、日頃感じた他の社員への感謝の念を、些細な事でもカードに手書きでしたためる「サンクスカード制度」という活動も行っています。例えば、「工場周辺清掃の時、早くから掃除道具を準備してくれてありがとう！」など、本当に些細なことかもしれませんが、日頃から社員同士、感謝の気持ちで接しているので、社内全体が常に何事にも向上していく風土が培われています。

又、幅広い業種を支援している行政や支援機関を通じて、環境活動を中心に自社の課題に合った研修・セミナーに関する情報を収集し、参加も積極的に行っております。加えて、各社員からの自主的な研修参加の申し出も積極的に受け入れています。参加した研修の内容をレポートに纏め、部署内にて報告会を行うことで、学んだ内容を共有すると同時にアウトプットもできる体制を整えています。

【工場見学にお越し頂いた方へのアンケート用紙】

(株)ナンゴー 工場見学者様向けアンケート用紙

平成 年 月 日

(会社名) _____ (お名前) _____

質問1: 会社プレゼンテーションはいかがでしたか? (該当する番号に○をつけてください)
 ① 分かりやすかった ② おおむね良かった ③ 少し分かりにくい ④ 分からなかった

コメント欄:

質問2: 展示スペースはいかがでしたか? (該当する番号に○をつけてください)
 ① 素晴らしい ② おおむね良かった ③ 少し見づらい ④ 良くなかった

コメント欄:

質問3: 工場見学の際、従業員の挨拶、態度、言葉遣いはいかがでしたか?
 (該当する番号に○をつけてください)
 ① 大変良かった ② おおむね良かった ③ 少し悪かった ④ 悪い

コメント欄:

質問4: 当社のCSR活動についてどのように思われましたか? (該当する番号に○をつけてください)
 整理について: ① 良くできている ② だいたい良かった ③ あまりできていない ④ できていない
 意匠について: ① 良くできている ② だいたい良かった ③ あまりできていない ④ できていない
 業績について: ① 良くできている ② だいたい良かった ③ あまりできていない ④ できていない

コメント欄:

質問5: もし貴方がナンゴーの社員ならば、どこを一つ改善したいと思われましたか?
 コメント欄:

質問6: その他ご意見があればお願いします。
 コメント欄:

アンケートご協力ありがとうございました。
 皆様のご意見を今後の社内の改善に役立ててまいります。

その他の環境に配慮した事業活動への取組

- ① 各エアコンの適正冷暖房温度設定 (冷房 28℃、暖房 20℃以下)
 各リモコンと操作パネルに明示 (各所に温度計を設置しています)
- ② 昼休み等、消灯の徹底 (デマンドコントローラー設置による管理体制)
- ③ 節水の励行 (蛇口付近に表示)
- ④ 2012年～2018年現在まで順次、新規機械設備 (工作機械) の導入・入替えを行っており、エネルギー効率の高い設備での加工。又、社員の技術力向上の為、インプル会議を毎月開催、加工技術に関する社内テストの実施。原則、上限を定めず全額会社負担での、研修やセミナーの受講など経営課題の解決に大きく貢献しているキャリア支援の取り組みも充実しています。

【新規導入設備】

2012年/三次元測定機 2013年/立マシニングセンタ 2014年/同時五軸立型マシニングセンタ、CNC複合旋盤、平面研削盤 2015年/立オープン型マシニングセンタ、NC旋盤2台 2016年/横マシニングセンタ 2018年/ファイバースコープ、打刻機、立マシニングセンタ・デマンドコントローラー設置

- ⑤ 事務用品等購入時のグリーン購入の推進 (グリーン購入の推進の表示)
- ⑥ 園芸委員による緑化の推進

- ⑦営業社員のエコドライブの実施
- ⑧エコカー推進のポスター掲示と周知
- ⑨分別ゴミ箱の設置

弊社において、製造現場と IOT を業務の効率化・能率化の為に取り入れている一つに、NC-Navi（生産管理システム）があります。お見積書の発行から受注、材料調達、製造、検査、納品に至るまで一括生産管理をするシステムを導入しています。見える化することにより、納期短縮、製造コスト削減など、余計な電力や物資の削減に繋がっています。

お客様に喜んで頂いているシステムとして、お客様が専用アカウントを使い、弊社に発注した製品の作業進捗状況や過去の発注履歴情報を、Web 上の専用サイトで簡単に検索・確認できるサービスも提供しています。このシステムは、ネットショッピングの追跡システムのように、お客様側で、品名や図番、納入予定日等の項目から検索していただくと、進捗状況や発注履歴の確認が簡単に分かるシステムで、効率的な業務遂行に繋がっていると同時に、お客様の利便性向上も追求しています。

又、他社との差別化を図るべく、モノ造りのソリューションサイトも立ち上げており（中途半端ネット）、事業活動の更なる発展と、環境活動を推進して地球環境との調和を意識しています。

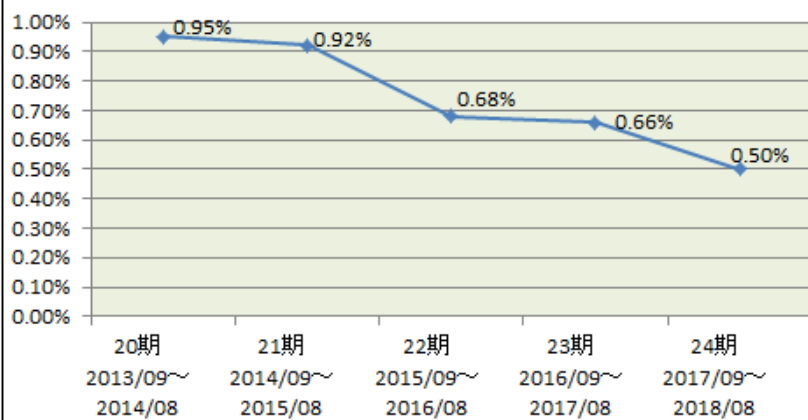
中小企業の金属機械加工現場は、油まみれで、ドロドロになって・・・をイメージされるかもしれませんが、2018 年度、厚生労働省より従業員のキャリア形成支援を表彰するグッドキャリア企業アワードのイノベーション賞を受賞し、従業員への自律的な思考を促進する仕組みが確立されています。（その他、数々の賞や認定を頂いております）

現在では、BCP（事業継続計画）の策定を進めております。（一環として 2018 年 11 月防火訓練の実施も行いました）

株式会社ナンゴーは、永年培われた金属を熟知した職人の技術はもとより、IOT による製造現場の効率化による環境負荷軽減を目指すべく、経営理念でもある、【仕事を通じて私たちは向上する！！】向上することは、3つ。 1、人として向上すること 2、人が向上することで企業が向上すること 3、企業が向上することで社会に貢献すること。を基盤とし、向上し続ける会社であります。

技術を共有することにより、工程内による不良品も減り、資源の無駄がなくなり、事業活動を行う上でも環境配慮に結びついています。

工程内不良発生率



写真①インプル会議



写真②社内テスト



写真③【IOTによる見える化】
タブレット使用し作業をする様子



写真④
工場周辺清掃



写真⑤-1 防火訓練の様子



写真⑤-2 防火訓練の様子



写真⑥-1【昨年度の5Sグランプリ】
コンプレッサー付近の温度上昇防止の
為、自作ミストを設置



写真⑥-2【昨年度の5Sグランプリ】
表彰式の模様



写真⑦-1【サンクスカード制度】
集まったカードを張り出しています



写真⑦-2 【サンクスカード制度】
アルバムに綴じていっぱいになれば
プレゼントしています。



●受賞歴

- 2011年10月 第8回切削加工ドリームコンテスト 金型・造形加工部門 金賞受賞
- 2012年11月 独自技術で特許権を取得「ステレオグラム表示体及びその製造方法」
- 2013年06月 京都府元気印中小企業 認定（京都府知事）
- 2013年08月 経営革新計画 承認（京都府知事）
公益財団法人 新技術開発財団の助成テーマに採択
- 2014年10月 第10回切削加工ドリームコンテスト 金型・造形加工部門 銅賞受賞
- 2015年01月 関西ものづくり新撰2015 選定
- 2016年02月 KESステップ2SR 認証登録 [KES2SR-0015]
- 2016年03月 関西IT百撰 優秀賞受賞
- 2016年10月 経営革新計画 承認（京都府知事）
- 2018年11月 厚生労働省グッドキャリアアワード2018【イノベーション賞】受賞